

氷見市議会産業建設委員会会議録

令和3年2月9日（火）

氷見市庁舎議事堂委員会室

開 会 午前 9時58分

休 憩 午前11時49分

再 開 午後 1時00分

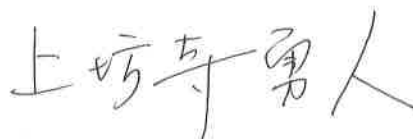
閉 会 午後 1時21分

- 1 案 件 令和3年度予算案のうち産業建設委員会の所管に係るもの
- 2 出席委員 5名
上坊寺委員長、屋敷副委員長、穴倉委員、稲積委員、荻野委員
- 3 委員外議員 萩山議長、小清水副議長
- 4 職務のため出席した事務局職員 申田事務局長、洲崎主査
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、京田企画政策部長、藤澤総務部長、森川防災・危機管理監、森田産業振興部長、釣賀建設部長、横山消防長、石田商工振興課長、萩原観光交流課長、浦農林畜産課長、高田水産振興課長、坂農業委員会事務局長、浜本ふるさと整備課長、神代道路課長、堂田都市計画課長、鎌仲花みどり推進室長、足立上下水道課長、安田消防総務課長、そのほか関係職員
- 6 傍 聴 人 2人
- 7 経過及び結果
 - ・上坊寺委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・令和3年度予算案について、当局より説明を受け了承した（主な質疑応答は別紙のとおり）。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和3年2月9日

氷見市議会産業建設委員長



令和3年2月産業建設委員会調査日程表

9:58~13:21

令和3年2月9日(火) 午前10時

水見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 消防本部 10:01~
・事業明細書..... P. 122
- ◎ 地域防災課 10:06~
・事業明細書..... P. 9
- ◎ 商工振興課 10:09~
・事業明細書..... P. 58
- ◎ 観光交流課 10:18~
・事業明細書..... P. 61
- ◎ 農林畜産課 10:27~
・事業明細書..... P. 64
- ◎ 水産振興課 10:50~
・事業明細書..... P. 68
- ◎ 農業委員会事務局 11:00~
・事業明細書..... P. 121
- ◎ ふるさと整備課 10:05~
・事業明細書..... P. 70
- ◎ 道路課 11:17~
・事業明細書..... P. 74
- ◎ 都市計画課 11:35~
・事業明細書..... P. 78
- ◎ 花みどり推進室 11:46~
・事業明細書..... P. 80
- ◎ 上下水道課 13:00~
・事業明細書..... P. 81

主な質疑応答

<p>観光交流課 穴倉委員</p> <p>萩原観光交流課長</p> <p>穴倉委員</p> <p>萩原観光交流課長</p>	<p>2 まんがのまちづくり推進事業費について。モニュメントを4体整備したが、1体当たりの経費はどの程度か。</p> <p>約300万円であり、藤子スタジオ、小学館集英社プロダクションの監修などを含めたものである。</p> <p>9 漁業文化交流センター管理運営事業費について。プリンス館の活用状況はどうか。</p> <p>地域の方々を中心に運営していただいております、地域の方々のみならず、観光協会など様々な団体で会合などの用途で活用いただいている。</p>
<p>農林畜産課 稲積委員</p> <p>浦農林畜産課長</p> <p>稲積委員</p> <p>浦農林畜産課長</p> <p>稲積委員</p> <p>浦農林畜産課長</p> <p>稲積委員</p> <p>浦農林畜産課長</p>	<p>22 氷見牛ブランド支援事業費について。前年比で予算が減額されている。ブランド力向上のため、仔牛の導入を推進すべき事業であるが、どうしてか。</p> <p>コロナ禍の影響により増産を控えており、予算は減額となっているが、氷見牛の頭数を減産するわけにはいかないため、新たな牛舎の建築や、若手の飼育者の養成などを進めていきたい。</p> <p>令和3年度はコロナ禍の影響で減額しているが、牛舎の新築や若手育成に力を入れていくということか。</p> <p>お見込みのとおりである。</p> <p>35 沿道林整備事業費について。沿道林の所有者の同意が得られない場合や、所有者が不明の場合はどうするのか。</p> <p>該当林をエリアとして考え、一部の所有者の同意が得られない場合、また所有者が不明の場合は、その部分を省いて整備をすることも考えられるが、そうならないように努力したい。また、個人で伐採整備をされたい方がいらっしゃった場合に対応する補助金を設けたところである。その際はその周辺も併せて整備していくよう検討したい。</p> <p>本来であれば、その所有者が整備すべきであるが、市がすべて整備してしまうのか。所有者にその補助金等の利用を促すのか。</p> <p>当然、所有者での整備を促すものであるが、整備が困難である場合や、</p>

<p>穴倉委員</p> <p>浦農林畜産課長</p> <p>穴倉委員</p> <p>浦農林畜産課長</p> <p>稲積委員</p> <p>浦農林畜産課長</p>	<p>緊急性がある場合は市として判断していきたい。</p> <p>倒木による停電などは北陸電力に協力を要請出来ないのか。</p> <p>北陸電力とは今後どのように取り組んでいくのか協議中であり、緊急性の高いものについては相談していきたい。</p> <p>13 耕作放棄地対策事業費について。令和3年度は要望なしとのことであるが、市内には耕作放棄地が多くあり、住民は対応に苦慮している。本制度の周知はどのようにしているのか。また令和2年度の実績はどうか。</p> <p>本制度の周知については、各種会合等でその都度周知しており、対策会議も行っている。令和2年度は特産氷見稲積梅生産組合が事業主体として執行しており、事業費は総額140万円である。</p> <p>7 総合振興事業費について。大幅な減額となっているが、なぜか。</p> <p>会計年度任用職員の人件費が会計年度任用職員給与費へ移管したためである。</p>
<p>水産振興課 稲積委員</p> <p>高田水産振興課長</p> <p>稲積委員</p> <p>高田水産振興課長</p>	<p>12 浜の活性化推進事業費について。氷見の浜活性化プロジェクト会議(仮称)を設置されるが、メンバー構成はどのようなになるのか。</p> <p>東京海洋大学の馬場教授に座長をお願いし、漁業関係者として実際に漁業をされている宇波浦漁業組合、水産加工業組合、仲買商業組合などの方で15、6名を予定している。</p> <p>氷見市は天然の魚を売りにしているが、養殖となると漁業者の理解は得られるのか。</p> <p>実際に30年ほど前にはハマチなどの養殖を行っていた経緯がある。また漁業者全体の漁獲量、漁獲高が年々減少しており、定置網は自然相手であり変動が大きい。魚の少ない春夏に漁業者の収入を補完する意味でも養殖を行っていきたい。興味関心を示されている漁業者もおられるため、市としても事業を支援していきたい。</p>
<p>農業委員会事務局 穴倉委員</p>	<p>女性農業委員について。改選により女性農業委員がおられなくなったが、どのような会議であれ女性委員等は必要である。減員になったから終わりではなく、女性委員を増やしていくよう取り組んでいただきたい。</p>

<p>坂農業委員会事務局 長</p>	<p>農業委員は15名で、うち地元推薦が12名、他は中立委員として各団体から推薦されるものである。女性委員がおられないことに関しては、農業委員会の中でも調整を始めており、次回の改選期では女性委員をお呼びしたいと考えている。</p>
<p>ふるさと整備課 稲積委員</p> <p>浜本ふるさと整備課 長</p> <p>稲積委員</p> <p>浜本ふるさと整備課 長</p> <p>穴倉委員</p> <p>浜本ふるさと整備課 長</p>	<p>19 ため池耐震性調査事業費について。令和2年度3月補正予算での計上とするとのことであるが、先日の北八代のため池の件を鑑みて、他のため池でも同じような事故が起こり得るのか調査はしたのか。</p> <p>ため池に関しては、地元地区が管理者となっており、日ごろから草刈り等の管理を行っていただいているが、今のところ崩落等の危険性があるため池は報告されていない。</p> <p>事故のあったため池に限らずため池に事故等があった場合に、どのような危険があるのか下流域の住民に知らせるために、記者発表などのPRをすべきではなかったかと思うが、どうか。</p> <p>今回、豆田池の破堤があったが、豆田池の下に新豆田池があり受け皿となったため、下流域に影響がないであろうと市と県、国の調査官が判断したもの。当然、地元へは注意喚起し、日ごろから水質等を注視してほしい旨を伝えたところ。</p> <p>市内には180カ所の老朽化したため池があるとのことであるが、いついかなることが起きるかもしれないため、積極的なアピールが必要ではないか。</p> <p>ため池ハザードマップを作成中であり、年度内には配布するところ。全戸配布し注意喚起を行いたい。</p>
<p>道路課 稲積委員</p> <p>神代道路課長</p>	<p>21 消雪施設維持管理費について。今回の大雪では消雪施設がある道路は積雪が遅く効果的であったようである。除雪機械数を増やすようであるが、オペレーターの高齢化や人員不足で、将来的には消雪施設の導入路線を増やさないといけないと考えるが、将来的な方針はどうか。</p> <p>消雪施設の導入については、まず雪寒指定路線に位置付けられる必要があり、上田子地区で高岡広域エコ・クリーンセンターの地域支援としての消雪施設の整備をする以外は氷見市で増設する予定はない。また、氷見市の消雪施設は水源として川水を取水しているが、その路線の更なる施設延長の計画もない。</p>

稲積委員	<p>消雪施設導入区間では基本的に機械除雪は行わないことになっているが、今回の大雪では市街地では圧雪が多く見られた。消雪施設導入区間であっても災害級の大雪の際には市街地もしっかりと対応してほしい。</p>
神代道路課長	<p>おっしゃるとおり今回の大雪のような場合は、消雪施設のみで除雪が完了しているとは考えてはいない。その場合は除雪車を導入することも検討すべきであり、現況としても除雪車で対応した路線もある。</p>
稲積委員	<p>除雪委託している委託先事業者によって対応が大きく異なっており、街中では圧雪があっても除雪せず、住民がお願いしても対応しない事業者があったと聞いている。行政からの指示がなければ細かな対応ができないのであれば、除雪が後手になるかと思われる。個人宅の除雪をするわけではなく、消雪施設路線の圧雪の対応などであり、事前に委託事業者へ対応してもらおうよう周知していただきたい。</p>
神代道路課長	<p>除雪を委託している事業者は路線、範囲を指定して契約しているため、個別に指示しない限り対応はできない。消雪施設路線を除雪する場合は別に市から要請し除雪するスタンスとなっている。</p>
穴倉委員	<p>今回の大雪では、各オペレーターの対応で除雪対応が後手となるかどうかが決まることがよく分かった。特に圧雪の除去などは行政からの指示を統一し効率よく除雪対応していただきたい。</p>
神代道路課長	<p>圧雪除去の指示をしていないわけではないが、今回のような大雪の場合は個別の要望に対応すると必要な路線の除雪が間に合わないこともありうるため、ご理解いただきたい。</p>
都市計画課 穴倉委員 堂田都市計画課長 穴倉委員 釣賀建設部長	<p>12 まちなか整備事業費について。JR氷見駅周辺は整備が完了しているが、一方通行の解消など利便性の向上については、市民からの要望があったのか。</p> <p>駅前ロータリーの一方通行を拡幅し対面通行にしてほしいという要望等を地域からいただき、事業化したもの。</p> <p>整備して間もない氷見駅周辺を再整備することは、コロナ禍において市税を使うにあたり優先されることか。</p> <p>氷見駅前周辺は、老朽化し空き家となった物件があり、外壁の滑落による道路封鎖もあった。また、このような物件は景観を損ねているとの要望もあることから事業を行うもの。委員がご指摘のコロナ対応とは違った視</p>

	点となるが、必要性があつての事業推進でありご理解いただきたい。
上下水道課 稲積委員	水道事業会計について。先の水道基本料金の減免による収益への影響はあるか。
足立上下水道課長	水道基本料金の減免による影響はない。減免においては新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を原資とした一般会計からの繰入金にて補完している。年度の当初においては休業等の影響で水道料金は減少していたが、現在はプラス（税込みで）に転じている。
稲積委員	コロナ禍の先行きが不明な中で、今後市内経済や家計の下支えとして水道基本料金の減免は考えているか。
足立上下水道課長	今のところ、検討していない。
稲積委員	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を原資として頼らず、自主財源で減免を実施する方針はあるのか。
林市長	先の令和2年度補正予算において国の交付金を活用し、全世帯の3カ月間の水道基本料金の減免を実施したが、令和2年度3月補正予算の中では国の臨時交付金を活用し、新型コロナ対策の追加提案を予定している。その中では、水道基本料金の減免は考えていない。ご指摘の交付金を頼らない自主財源での水道基本料金の減免については、水道の老朽管対策などもあり、県と協議を重ねているものの県下1水道料金の高い本市においては、そこまでの余力はないものと考えている。